

SP レコード（松本コレクション）のデータベース作成について

篠塚義弘（関西大学博物館 学芸員）

筆者は、約 4,000 枚にのぼる SP レコード（松本コレクション）の整理・分類とデータベース作成を担当した。その結果、寄贈を受けたレコード群の総数や保存状態など全体像を把握することができた。整理・分類の過程については、研究活動概要報告で米田がすでに述べている部分と重複するが、ここでは、データベース作成にあたりレコード・レーベルのエクセルデータへの入力要領やチェック項目及び松本コレクションの特徴など 2 年間における各作業のより具体的な事項について述べる。

1. はじめに

伊丹市在住であった松本正美氏（故人）が、主に大正時代から昭和中期にかけて日本国内で販売された SP レコードを蒐集したものを蒐集者の名前を付けて『松本コレクション』と呼んでいることはすでに研究活動概要で述べた。大阪音楽大学からの寄贈の中に、松本氏が自らの考えに基づきコレクションを 26 の分野に分類した手書きノートが含まれていた。当研究プロジェクトでは、蒐集者の意志を尊重し、この分類にそってデータベースを構築することにした。松本氏の分類一覧を表 1 に示す。

分野番号	分 野
1	出張録音盤
2	義 太 夫
3	長 唄
4	常磐津、新内、清元、哥沢
5	謡 曲
6	琵琶
7	詩 吟
8	箏曲、尺八、三曲、雅楽
9	俚謡、民謡、端唄、小唄
10	歌舞伎、演劇
11	映画劇、映画説明
12	歌劇、お伽、童話
13	落語、講談、漫談
14	萬歳、漫芸
15	浪 花 節
16	朗読、講演、実況
17	はやり唄、演歌、書生節
18	流行歌（戦前）昭3.4～20.2
19	流行歌（戦後）昭20.11～35
20	歌 曲
21	童謡、唱歌、軍歌
22	校・寮歌、応援歌
23	管弦楽、吹奏楽、和洋合奏、軽音楽
24	ハーモニカ、ギター、ヴァイオリン、ピアノ、木琴 他
25	クラシック（管弦楽、器楽、歌曲）
26	ジャズ、ポピュラー、映画主題歌

表 1 まつもと音盤目録

2. 整理・分類作業と基礎データ入力

2020年2月頃から世界的に広がった新型コロナウイルス感染症の影響で、具体的な作業に入ったのは、7月頃からであった。大阪音楽大学から受け取ったSPレコードは、約80箱のダンボールに保管され、1箱には直径10インチ(約25cm)の平円盤のSPレコードが40～50枚程度収納されていた。素材の主成分がシェラックであるSPレコードは、非常に重く、しかも製造から少なくとも60年以上経過していて脆く割れやすくなっているため、収納されたダンボールの取り扱いには注意が必要であった。梱包を解くにあたり、当初はコレクションノートの分類に従い、分野毎に整理されていると予測していたが、収納されていたダンボール箱には分野の記載もなく、レコードは混在して梱包されていた。このため、その時点でのコレクションノートとの照合は不可能と判断し、まずは、レコードを分類することから始めることにした。

表1から、他分野と分類趣旨の異なる1番目の「出張録音盤」を除いた25分野について、17～19番目を1つの分野「流行歌」にまとめて23分野とし、レコード・レーベルに記載された分野に従い、大まかに分類した。その上で、レコード会社のレーベル毎に仕分けし、更にレコード番号順に整理することにした。レコードの整理・分類を終えてから、レコード・レーベルのA面(表面)とB面(裏面)の画像を事務用コピー機のスキャナ機能を利用してパソコンにJPG画像として全て取り込んだ(写真1)。レコードの中には、A面だけにしか録音されていないものもあったが、録音されていないB面の画像を取り込むことにより、スキャナ作業で得られた画像数の二分の一がレコード枚数になる。録音されていないB面の中には、無地だけでなく、レーベル名や模様、録音者の肖像画がプレスされているものも散見された。また、スキャナ時には、割れ、ヒビ、フチ欠け、膨らみ、汚れなどレコードの状態も付箋を用いてレコード・レーベルのスキャナ画像と共に記録した(写真2)。以上の作業を複数の学生アルバイトと定時職員を雇用して行ったが、全員がレコードを取り扱った経験がなく、最初にレコードの持ち方などの取り扱い方法の指導が必要であった。これらの作業により、SPレコード群の全体像の掌握を行った結果、寄贈を受けた松本コレクションのレコード総数は8,172面、4,086枚であることが判明した。

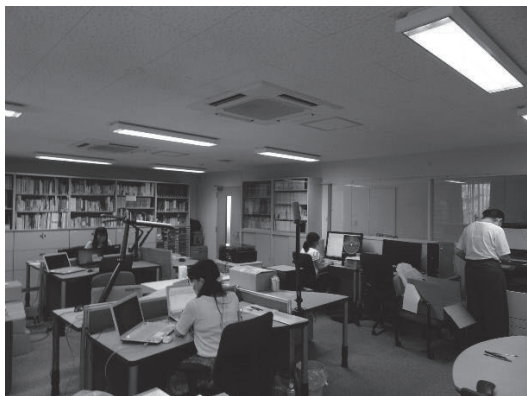


写真1 スキャナ作業及び基礎データ入力



写真2 レーベルのスキャナ画像

レコード・レーベル画像があれば、貴重なレコード本体を用いなくても、データベース構築のための基礎データを入力し作成することができる。このことは、レコードの保全に有効である。

スキャナ作業と並行して、レコード・レーベル画像を用いた基礎データ入力作業を行うにあたり、当初はタイトルなど詳細項目別に直接入力する入力フォーム（表2）と入力要領を作成した。入力要領は、親交のある大阪芸術大学博物館の資料を参考にさせていただいた。しかし、明治から大正、昭和中期にかけてのレコードに関する知識がなく、不慣れた入力者にレーベルの記載が入力フォームのどの項目に該当するかの判断を求めることになり、入力者毎に判断基準が異なるなどの混乱を生じた。そこで、1つの欄にレコード・レーベル全体とその周囲の刻印を全て入力する入力フォーム（表3）に変更し、入力要領も入力順序や記載項目の統一を図るように変更した。この作業も学生アルバイトなどに担当して頂いた。入力は、原則としてレーベル記載の原表記を尊重することにした。ここでも、若い作業者は、旧漢字などの異字体や旧仮名使い、右からの横書きにも不慣れであったため、ガイダンスが必要であった。この他にも、作業を進めるに従って新たに判明した事項について入力要領に細かな修正や追加を加えながら作業を行った（参考資料1）。

以上の作業については、2020年11月21日（土）13:30～16:00に、かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会主催のZOOMによる座談会「近代遺産の発掘と活用 寄贈資料を引き継ぐ～SPレコード～」(文化庁事業)で報告した。座談会の参加者は、55名（ZOOM参加48名）であった。座談会の詳細は、文字起こしをして当報告書の後半に掲載している。

3. 項目別データ入力

2020年11月頃から、当研究プロジェクトでは、この膨大な基礎データを基に表2の入力フォームに従って詳細項目への抽出作業を順次行った。日本のレコード業界の黎明期である明治・大正・昭和初期において、多くのレコード会社が設立され、統廃合が繰り返された。そのため、レコード・レーベルも統一性がなく、詳細項目への抽出作業では想定外や例外事項が多く見つかった。2021年度春学期には、新型コロナウイルス感染症の再拡大による影響もあり、少人数で膨大な抽出作業を細々と続けるなど、データベースの作成作業には苦勞した。作業の進行状況を把握するため、各分野別のチェックリストを作成した。そして抽出した詳細項目については、初心者でも検索が容易になるように、旧漢字（異字体）、旧仮名使いを新漢字（常用漢字）、新仮名使いになるべく改めた。この結果、旧漢字は原表記欄で、新漢字は詳細項目欄で、検索が可能となった。

なお、分野毎に詳細項目のデータベースを作成するにあたり、研究分担者が担当する「講演」「歌劇」「交響曲」分野を優先して作業を進め、研究活動に支障が少なくなるよう配慮した。そして、分類が確定したレコードには通し番号を付け、原則1箱15枚ずつに細分して、小さなダンボール箱に入れ直した。細分化することで、重いSPレコードの取り扱いが楽になるだけでなく、レコードを横置きした場合の自重による歪みや損傷も軽減される。



写真3 小さなダンボール箱に整理



写真4 ダンボール箱内の収納状況

この作業は諸般の事情で、年度末に2年計画で進めた。

2021年11月20日(土)13:00~16:00に、2年間の研究成果報告会をSPレコードのお披露目演奏会を兼ねて、なにわ大阪研究センター1階セミナー室にて開催した。研究分担者3名からそれぞれの研究成果を発表し、その後、ゼンマイ式の蓄音機を用いてSPレコードの演奏を行った。なお、報告会の参加者は23名であった。

4. コレクションの特徴

分野番号	分野	面数	枚数
2	義太夫(浄瑠璃)	228	114
3	長唄	154	77
4	常磐津、新内、清元、哥沢、富本	106	53
5	謡曲	28	14
6	琵琶	20	10
7	詩吟、俳句朗読	18	9
8	尺八、箏曲(琴)、三曲、雅楽	44	22
9	俚謡、民謡、端唄、小唄、哥澤	802	401
10	歌舞伎、演劇	60	30
11	映画(出演俳優及弁士)、映画説明	460	230
12	歌劇、童話、紙芝居、お伽	256	128
13	落語、講談、漫談	106	53
14	漫才、大神楽、音頭	216	108
15	浪花節	108	54
16	朗読、講演、実況記録	206	103
17	流行歌、演歌、書生節	1,880	940
20	歌曲	84	42
21	童謡、唱歌、童話、軍歌	634	317
22	校、寮歌、応援歌、市、社歌	82	41
23	交響楽、吹奏楽、和洋合奏、軍楽隊(軍隊ラッパ)、軽音楽	340	170
24	ハーモニカ、ギター、ヴァイオリン、ピアノ、アコーディオン、マンドリン、木琴	142	71
25	クラシック(交響楽、器楽、歌曲)	126	63
26	映画主題歌、ジャズ、ポピュラー	2,028	1,014
99	その他	44	22
	合計	8,172	4,086

表4 分野別コレクション集計表

4,086 枚のレコード・コレクションを整理した分野（演奏形態・ジャンル）毎の枚数を表 4 に示す。なお、分野の名称は詳細なノートの記載に合わせたため、表 1 と表現が多少異なっている。

松本コレクションの特徴として、以下の事項が挙げられる。

1) 個人コレクターとしては珍しく蒐集分野の幅が広い。

蒐集数の多少に差はあるが、蒐集分野は、義太夫、長唄に始まり、常磐津、謡曲、琵琶、詩吟、尺八・箏曲（琴）・雅楽、民謡、歌舞伎など日本の伝統的な芸能から、映画、歌劇、落語、漫才、浪花節などの娯楽、朗読・講演・実況記録、流行歌、童謡、交響楽、映画主題歌・ジャズ・ポピュラーなど実に様々である。

2) 「出張録音盤」を別記載している。

明治期に日本で録音し外国でレコード化して逆輸入された「出張録音盤」について、ビクター、コロムビア、ライロフォン、ベガの該当するレコードを抽出して記載している。

3) 映画主題歌・ジャズ・ポピュラー、昭和の流行歌（戦前編・戦後編）が非常に多い。次いで、民謡、童謡などの順に多い（表 4 参照）。

4) ハワイアンギター奏者で歌手のディック・ミネのレコードが多い。

ディック・ミネのレコードを非常に多く蒐集している。これは、『SHELLAC 日本 SP レコードクラブ 10 年の歩み（1984 年）』に投稿した松本氏の手記からも伺える。

5) 童謡・唱歌と軍歌を同じ分野に分類している。

子供が歌う童謡・唱歌と同じ分類に軍歌を含めるのは、現在の私達とは考え方が違う。老若男女を問わずに皆で歌う歌（唱歌・斉唱）として、昭和初期から中期にかけての時代背景に影響されていると推測される。

6) 珍品レコードが多数含まれる。

コンテンツとして珍しいのは、出張録音盤以外に、北村兼子のレコード、第 11 回ベルリン・オリンピック関係（女子 200m 平泳ぎ優勝の前畑秀子の実況放送、男子マラソン優勝の孫基禎の模擬実況放送）、宣伝用の見本盤レコードなどが挙げられる。

ハードとして珍しいのは、エジソンの縦振動レコード、SP レコードでありながら 33 1/3 回転の長時間レコード、録音用レコード、レーベルを貼り間違えたレコードなどが挙げられる。

5. おわりに

今回、約 4,000 枚にのぼる SP レコード群を整理し、データベースを作成することができた。この結果、松本コレクションの SP レコードをタイトル名やレコード番号などで検索し、容易に探し出すことが可能となった。しかし、限られた時間と労力では、分野（演奏形態・ジャンル）分けや詳細項目の抽出が十分にできていない部分が残ってしまったので、今後も引き続きチェックする必要がある。また、レコードに付随する歌詞カードや松本氏の手書きメモなども多数存在しており、この中には、レコード・レーベルに記載されていない

貴重な情報が掲載されているので、今後の調査に期待したい。

SP レコードを当時のゼンマイ駆動の蓄音機で再生すると、電気式オーディオプレーヤーでは味わえない臨場感を感じる事ができる。録音・記録された当時の時代背景や世相・風俗などを知る上で、非常に貴重な資料であり、資料として後世につなげる適切な保存が必要である。

参考資料 1) 松本コレクション データベース入力要領

20200828 改

SP レコードは、ほとんどが明治から昭和の中期にかけて制作されたもので、少なくとも 60 年以上経過しています。もろくなっていますので、取り扱いに注意願います。SP レコード作業の前には、手洗いしてください。

初期のレコード・レーベルの記載に統一したルールは乏しく、会社毎に異なってもいますので、入力困難と思われませんが、わかる範囲でどんどん記載してください。

※1 英字・数字：半角。

※2 文字：漢字・ひらがな・カタカナは全角。

※3 大文字小文字は記載の通り。

1. レコードには、A 面と B 面があります。片面毎にエクセル 1 行（1 セル）に入力してください。片面の場合、B 面の盤面記載は空白ですが、分野、通し番号、画像ファイル番号と面は入力します。備考欄には「B 面あり」と入力してください。

2. 入力項目：レコード中央のレーベルとレーベル外側の刻印を入力します。

最初に、レーベル名（VICTOR など）を 1 行入力し改行する（多くの場合、レコード穴上側）。 ①

次に、レコード穴の左側、右側、下側中央の順に記載してある項目をその通り 1 行毎に改行（Alt キー+Enter キー）しながら、全て入力してください。 ②、③、④

最後に、レーベル外周に刻印されているマトリックス番号（刻印）も全て入力してください。 ⑤

ただし、レーベル円周の小さな印刷（会社名、「VE」など）や画像は除きます。

戦前の古いレコードで、

1) 日本語が右から左に書いてあるものは、現在の順（左から右）で OK です。

2) 旧字体はなるべく原文のまま（新字体にした時は備考欄に「新字体使用」と注記）、記載してください。

3. ハイフン「-」は、半角マイナスを用いてください。
○「J123」「J-456」「JA789」、誤×「J 123」
4. 「マトリックス番号」: 盤面の刻印番号
1周のどこから始めてもかまいません。複数の刻印がある場合は半角空白を開けて入力してください。1123 32-4567 ○W123 ○C456 など
テイク数は、ハイフンの後に数字で記載「1123-1」
5. 「備考」: レコードの状態を記入します。スキャン画像に付箋で表記されています
「ワレ」「ヒビ」「脹らみ」「フチ欠け」「汚れ」 など
6. その他

○英文・欧文

- ・半角で入力
- ・カンマ「,」、ピリオド「.」、コロン「:」、セミコロン「;」の後ろは半角開けます。
ただし、作品番号、番号（「Op.」「No.」）と国名や会社名などを表す略称（「U.K.」「A.G.」など）の後ろは、スペースなしで続ける。原本にピリオドが無い場合はつけない。
- ・丸カッコは英文・欧文の中では、半角。
- ・ハイフン「-」は、半角マイナスを用います。
- ・フランス語やドイツ語などのウムラウトなどを気にせず、英字アルファベットで入力してください。

クラシックの表記例

SYMPHONIE No.5 IN C MINOR Op.67 交響曲 第五番 ハ短調 作品67 「運命」
Op.3, No.2

○日本語（漢字）

- ・基本的に全角
ただし、レコード番号などの英数字・記号は半角。番号・記号に付属する丸カッコも半角。
- ・長音符「ー」、ハイフン「-」、ダッシュ「—」などに注意。
シンフォニー（長音符）
- ・旧字体、漢数字、繁体字なども極力、原本に忠実に記述してください。ただし、変換できないものは新字体などで入力し、備考などに「新字体使用」と記載します。